



1. ETFとは

ETF = Exchange Traded Fund (上場投資信託)

取引所で株式と同じように取引ができる投資信託のことで、日経平均株価などの特定の指標の動きに連動するように運用されています。



あろーずくん



1. 値動きが分かりやすい

ETFは、日経平均株価やNYダウといった馴染のある指数の動きに連動することをめざして運用されています。

2. 簡単に分散投資が可能

ETFは、連動をめざす指標の構成銘柄（TOPIXなら約1900銘柄）に分散投資を行いますので、個別銘柄への投資と比べリスクを低減できます。

3. 保有中のコストが安価

ETFは、保有中にかかる信託報酬が非上場の投資信託に比べ、低い傾向にあります。
※信託報酬：毎日一定の率でファンドの信託財産から間接的に差し引かれる運営費用

4. リアルタイムで売買が可能

ETFは、取引所の開いている時間であれば、指値注文や成行注文で相場を見ながらリアルタイムで売買が可能です。

2. ETFの種類

東京証券取引所には225銘柄のETFが上場しており、ETFを通じて様々なアセットクラスに投資することができます。

日本株	市場別・規模別・業種別・テーマ別 TOPIXや日経平均株価など、日本を代表する指数に連動するETFや特定の業種の値上がりを狙う業種別ETF、東証1部やマザーズなどの上場市場別に投資ができる市場別ETF、特定のテーマの日本株を集めたテーマ別ETFがあります。
外国株	先進国・新興国・世界全体 アメリカ、中国などの個別の国の株価指数に連動するETFのみならず、先進国・新興国といったパッケージで複数の国の株式に投資するタイプのETFもあり、お客様の嗜好にあわせて選択いただけます。
分配金重視	不動産（リート）・外国債券・高配当株 不動産（リート）、外国債券、配当の高い株式を対象とするETFは、比較的分配金利回りが高い傾向にあり、長期で保有いただくにも適した商品です。
短期売買向き	レバレッジ・インバース型 ブル・ベア型とも呼ばれ、原指標の前日比変動率(%)の2倍、もしくは-1倍、-2倍となるように計算された対象指数に連動するETFです。短期の値幅取りにもご利用いただけます。
商品その他	非鉄金属・エネルギー・鉱物・穀物 金や原油など、特定の商品の価格等に連動するよう設計されたETFです。現物の金やプラチナへの転換が可能タイプの銘柄もございます。

3. 一般的な投資信託・ETF・株式投資の比較

ETFは、投資信託と株式投資、双方のメリットを特性を兼ね備えた商品です。相場を見ながらリアルタイムで売買することができるだけでなく、手軽に分散投資が可能のため、幅広い投資家向けの商品となっております。

	ETF	投資信託	株式投資
いつ取引できるの？	取引所立会時間	証券会社が決める時間内 (1日1回)	取引所立会時間
取引の値段は？	市場価格 (リアルタイムで変動)	当日の基準価額 (申込み時点では未定)	市場価格 (リアルタイムで変動)
売上の値段は決められるの？	指値を通じて指定可能 (成行注文も可能)	不可能 (基準価格で購入・換金)	指値を通じて指定可能 (成行注文も可能)
信用取引は？	可能	不可能	可能
どこで取引できる？	証券会社	特定の取扱証券会社、銀行	証券会社
信託報酬は？	投資信託と比較して低額	ETFと比較して高額	なし
分散投資は？	少額でも連動する指数と同じように分散投資される。	運用方針にそって分散される。	複数銘柄購入する必要があるため、効率の良い分散にはまとまった資金が必要。

4. ETF投資のリスク

- 1. 価格変動** ETFは、値動きがある対象に投資するので、価格が変動するリスクがあります。元本が保証されている商品ではありません。
- 2. 売買高** ETFには売買高の少ないものがあり、売買が成立しないリスクや想定した価格で売買できないリスクがあります。
- 3. 乖離** 市場価格は市場での需給バランスによって決まるため、保有している信託財産の時価から算出される基準価格と一時的に乖離する可能性があります。
- 4. 上場廃止** ETFも上場廃止になることがあります。上場廃止となったETFは信託約款に基づき、裏付け資産に基づいて繰り上げ償還されます。



5. ETFに関する情報

- 「日本取引所グループETF・ETNページ」 <http://www.jpx.co.jp/equities/products/etfs/index.html>

6. 免責事項

- 当資料は、作成時におけるETFの概要説明のみを目的としており、投資勧誘を目的としているものではなく、また金融商品取引法に基づく開示資料ではございません
- ETFは値動きのある有価証券を投資対象としますので、連動対象である指標及び外国為替相場の変動、組入有価証券の価格の変動、組入有価証券の発行会社の倒産や財務状況等の悪化、その他の市場要因の影響等により、市場取引価格又は基準価額が値下がりし、それにより損失が生じることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではありません。また、信用取引を利用する場合には、差し入れた保証金以上の損失が生ずるおそれがあります。
- ETFの売買を行われるに際しては、あらかじめお取引先の金融商品取引業者等より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、リスクの存在、販売手数料、信託報酬などの手数料等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で行っていただきますよう、お願い申し上げます。
- 当資料は、2016年4月現在の内容です。その後、制度の改正等により、当資料に掲載した内容が予告なく変更される場合があります。また、この資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。当社は、当資料及び当資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、いかなる目的を問わず、無断複製・転載を禁じます。